

【ユニット】 導入クリニカル・クラークシップ2-3

【ユニットディレクター】

UD：石橋 敬一郎（医学教育学）
UD 補佐：森 茂久（医学教育学） 辻 美隆（医学教育センター） 川村 勇樹（教養教育）
杉山 智江（医学教育センター） 大西 京子（医学教育センター） 齋藤 恵（医学教育センター）
松田 晃（医学教育学） 柴崎 智美（医学教育学） 黒崎 亮（国七 婦人科腫瘍科）
松本 春信（血管外科） 金田 光平（医学教育センター） 中山 英人（麻酔科） 前田
卓哉（臨床検査医学（中央検査部）） 作山 洋貴（医学教育センター）

【一般的な目標】

臨床実習（CC step1）を円滑に行い、その成果をすぐれた医療人（臨床医）として実践できるようになるために、医学生として備えておくべき基本的臨床能力を習得する。

共用試験 OSCE にむけた「診療参加型臨床実習に参加する学生に必要とされる技能と態度に関する学修・評価項目」（公益社団法人共用試験実施評価機構編）に記された技能・態度を習得する。

【具体的な目標】

1. 基本的診療技能実習
 1. 患者さんとの対応において留意すべき点を述べることができる。
 2. 身体診察にあたって配慮すべき事柄を述べることができる。
 3. （模擬的な）医療面接を通して良好な医師、患者関係を築くための基本的コミュニケーション技法を用いることができる。
 4. （模擬的な）医療面接を通して病歴（主訴、現病歴、既往歴、家族歴、社会歴、職業歴、システムレビュー等）を聴き取り、情報を取捨選択し整理できる。
 5. 全身状態を評価し、バイタルサインを測定することができる。
 6. 胸部（心/肺）、腹部の診察を行うことができる。
 7. 頭頸部、神経系、四肢と脊柱の診察を行うことができる。
 8. シミュレータを用いた乳房診、直腸診を実施できる。
 9. 12誘導心電図を装着し、記録できる。
 10. Basic Life Support（心肺蘇生法）、人工呼吸法を実施できる。
 11. 手洗い、ガウンテクニックを実施できる。
 12. PPE(Personal Protective Equipment, 個人防衛具) の着脱と廃棄ができる。
 13. シミュレータを用いた消毒・縫合・抜糸を実施できる。
 14. シミュレータを用いた静脈採血を実施できる。
 15. 診療所見を正しく記載し、問題志向型医療記録（POMR）による診療録を記載できる。
 16. 電子カルテの使い方を理解し説明できる。
11. 問題演習実習（E-learning）
 1. 典型的な症例の主訴や症候から病態生理や疾患頻度別に疾患を列挙することができる。
 2. 典型的症例について問題点を抽出・整理することができる。
 3. 整理した問題点全体を矛盾無く説明可能な病態生理を推測することができる。
 4. 診断仮説を検証するために医療面接、身体診察、検査に基づいて情報を収集することができる。
 5. 推測した病態に基づいて疾患名を推測することができる。

【学習方法】

I. 基本的診療技能

小グループを編成して、実習を行う。質問等は、実習時間内に受け付ける。

1. 身体診察法(頭頸部診察, 四肢・脊柱の診察)を順次ローテート実習する。
2. Basic Life Support, 人工呼吸法、基本的臨床手技(手洗い・ガウンテクニック, PPE、静脈採血, 縫合・結紮, 乳房診・直腸診)について順次ローテート実習する。
3. 問題志向型医療記録(POMR)による診療録を記載の仕方について実習する。
4. 電子カルテの使い方についての実習する。
5. OSCE 前のまとめとして、診療参加型臨床実習に必要とされる技能と態度について再度順次ローテート実習を行う。

II. 問題演習実習(E-learning)

1. 主要症候に基づき、ゼミ室、講堂、PC室でE-learning、PBL、TBLを行う。

【評価方法】

本ユニットは良医になることを目指して、講義や実習に参加し、課題に取り組むことを求めている。そのため、医師を目指す医学生としてふさわしくない態度、行動があった場合には、評価の対象とせず、不合格とする。毎日 SMU PASSPORT への健康状態の記録を行うことが、実習参加の条件であり、記録がない場合は欠席とする。

1. 【本ユニットは実習扱いであり、90%以上の出席が必要である。
出席 90%以上のものを評価対象とし、出席 90%に達しないものは評価対象としない。やむを得ない理由で実習を欠席した場合には、学年末(12月下旬-1月上旬)に補講を行うことがある。
2. 本ユニットでは全ての課題(提出物)の提出を確認した上で評価対象とする。具体的には、学務課や実習担当者に提出するレポート、実習成果物等だけでなく、WebClass に登録する日々の振り返り(ログブック)、ルーブリック評価、レポート、ポストアンケートを含むすべての課題である。
3. 評価は、出席、実習態度、レポートを勘案して 100 点満点で評価する。
それぞれの課題毎に決められた提出期限内に未提出の場合には、評価点を減点する。
4. 11 月以降の実習はインフルエンザワクチンを接種していることが、実習参加の条件である。

【教科書】

- ◆ 診療参加型臨床実習に必要とされる技能と態度に関する学修・評価項目 公益社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構
- ◆ 身体診察と基本手技 基礎臨床技能シリーズ 5, 倉本 秋, メジカルビュー社
- ◆ 内科診断学第 3 版(医学書院)
- ◆ 内科学第 11 版(朝倉書店)
- ◆ 診療ができる vol.1 身体診察(第 1 版), メディックメディア社

【参考書】

- ◆ 臨床推論 EBM と病態生理から症例を考える 基礎臨床技能シリーズ 4, 編集: 後藤英司, メジカルビュー社
- ◆ 症例からたどる鑑別診断 ロジカルシンキング, 編集: 後藤英司他, メジカルビュー社
- ◆ 模擬患者とつくる医療面接, 寺沢秀一, 林 寛之, 氏家靖浩, ナカニシヤ出版
- ◆ 戦略としても医療面接術, 児玉知之, 医学書院

【授業予定表】

	月日	曜日	時限	講義名	担当者
Pre-CC 2-3 OR	04月16日	(火)	4~6	オリエンテーション	UD, UD補佐, その他
Pre-CC 2-3 第 1クール	04月17日	(水)	1~6	基本的診療技能実習／問題演習実習	UD, UD補佐, その他
Pre-CC 2-3 第 1クール	04月24日	(水)	1~6	基本的診療技能実習／問題演習実習	UD, UD補佐, その他
Pre-CC 2-3 第 1クール	05月01日	(水)	1~6	基本的診療技能実習／問題演習実習	UD, UD補佐, その他
Pre-CC 2-3 第 1クール	05月08日	(水)	1~6	基本的診療技能実習／問題演習実習	UD, UD補佐, その他
Pre-CC 2-3 第 1クール	05月15日	(水)	1~6	基本的診療技能実習／問題演習実習	UD, UD補佐, その他
Pre-CC 2-3 第 1クール	05月22日	(水)	1~6	基本的診療技能実習／問題演習実習	UD, UD補佐, その他
Pre-CC 2-3 OR	10月31日	(木)	1~6	オリエンテーション	UD, UD補佐, その他
Pre-CC 2-3 第 2クール	11月01日	(金)	1~6	基本的診療技能実習／問題演習実習	UD, UD補佐, その他
Pre-CC 2-3 第 2クール	11月02日	(土)	1~6	基本的診療技能実習／問題演習実習	UD, UD補佐, その他
Pre-CC 2-3 第 2クール	11月05日	(火)	1~6	基本的診療技能実習／問題演習実習	UD, UD補佐, その他
Pre-CC 2-3 第 2クール	11月06日	(水)	1~6	基本的診療技能実習／問題演習実習	UD, UD補佐, その他
Pre-CC 2-3 第 2クール	11月07日	(木)	1~6	基本的診療技能実習／問題演習実習	UD, UD補佐, その他
Pre-CC 2-3 第 2クール	11月08日	(金)	1~6	基本的診療技能実習／問題演習実習	UD, UD補佐, その他
Pre-CC 2-3 第 2クール	11月09日	(土)	1~6	基本的診療技能実習／問題演習実習	UD, UD補佐, その他
Pre-CC 2-3 第 2クール	11月11日	(月)	1~6	基本的診療技能実習／問題演習実習	UD, UD補佐, その他
Pre-CC 2-3 第 2クール	11月12日	(火)	1~6	基本的診療技能実習／問題演習実習	UD, UD補佐, その他
Pre-CC 2-3 第 2クール	11月13日	(水)	1~6	基本的診療技能実習／問題演習実習	UD, UD補佐, その他

【備考】

それぞれの実習の事前学習・課題は、年度初めまたは実習前に実施するオリエンテーションで詳細を説明する。基本的診療技能実習では、教員がその都度フィードバックを行う。

キーワード：基本的診療技能、医療面接、問題演習。

「UD, UD補佐, その他」と記載してある時間は、以下の者が担当している。

石橋（医学教育学）、森（医学教育学）、辻（医学教育C）、小山（国セ泌尿器腫瘍）、松田（医学教育学）、柴崎（医学教育学）、中山（麻酔科）、前田（臨床検査医学）、黒崎（国セ婦人科腫瘍科）、松本（血管外

科)、山田(医学教育 C)、川村(教養教育)、杉山(医学教育 C)、大西(医学教育 C)、齋藤(医学教育 C)、金田(医学教育 C)、柴崎(由)(医学教育 C)、作山(医学教育 C)、その他

【ユニット】

導入クリニカル・クラークシップ 2-3

【ユニットディレクター】

石橋 敬一郎（医学教育学）

【コンピテンス】

1. 社会人および医師としての基本姿勢
3. 診療技能・患者ケア
6. コミュニケーション能力

【マイルストーン】

- 1-(2). 患者と家族の精神的・身体的苦痛に配慮できる。
- 3-(1). 実践に即した環境で医療面接を実施し、内容を要約できる。
- 3-(2). 基本的な技法を用いて診察を行うことができる。
- 3-(4). 与えられた診療情報を問題志向型医療記録に記載できるよう整理することができる。
- 6-(1). 身だしなみ、言葉遣い、態度など、他者と接する基本姿勢を身につけている。
- 6-(2). 模擬患者相手の医療面接においてコミュニケーションスキルを適切に用いて患者との人間関係を確立することができる。模擬患者に敬意と思いやりをもって接し、良好な関係を築くことができる。
- 6-(3). 模擬患者相手の医療面接において必要事項を伝えることができる。

【評価方法】

- 1-(2). 模擬患者による評価
- 3-(1). 共用試験臨床実習前 OSCE
- 3-(2). 臨床実習前 OSCE
- 3-(4). 提出物評価
- 6-(1). 共用試験臨床実習前 OSCE
- 6-(2). 共用試験臨床実習前 OSCE
- 6-(3). 模擬患者による評定尺度

【補習および再評価の方法】

- 1-(2). レポートの提出
- 3-(1). 次年度の共用試験臨床実習前 OSCE
- 3-(2). 次年度の臨床実習前 OSCE
- 3-(4). 提出物の再提出
- 6-(1). 次年度の共用試験臨床実習前 OSCE

6-(2). 次年度の共用試験臨床実習前 OSCE

6-(3). レポートの提出